東北大学医学部
2024　医学科 | 保健学科

TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2024

SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES
SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

TOHOKU
UNIVERSITY

医学という学問を学ぶ

東北大学医学部は1872年に「宮城県立医学所」として設立され今年で151周年を迎えます。また、国立大学医学部としては1915年に東北帝国大学医科大学の設立から108周年となります。本医学部はこの100年を越える歴史の中で、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の3つの建学理念のもとに、優れた医学研究者を数多く輩出し、いくつもの大きな研究成果を世に送り出してきました。

建学理念について説明すると、「研究第一」：研究を第一の使命とし医学部では100以上の研究室で最先端の医学研究を推進しています。「門戸開放」：戦前の大学で唯一、女性や師範学校卒業生を受け入れたことはダイバーシティ重視の先駆けとして高く評価され、そしてなお、分け隔てない医療を提供することを使命としています。「実学尊重」：人類、社会に貢献できる研究成果を創出すると同時に100年以上にわたって北日本の地域医療に貢献しています。この3つの理念に則って教育研究と地域医療を最高レベルで両立していることが本医学部の最大の特徴です。

皆さんは高校までの学習で多くの知識を学び、その知識をたくさんの試験で評価されてきたことでしょう。しかし、皆さんが学んだ知識というのは過去に既に明らかにされた事実であり、これまでの学習は学問というものではありません。学問とは正解が存在するかもわからない未知なるものを探究し新たな知見を獲得するために行う科学的な営みです。そして医学という学問は、人体の正常や異常の仕組みを解明し法則を発見することで人類の健康を保障し、疾患の予防、診断、治療の方法を見出すことを目的とした科学研究です。

本医学部では近未来の課題解決に向けた新たな学問を創出すべく、東北メディカル・メガバンク機構と連携したゲノム医学の推進、工学部と連携した医工学研究、大学病院と連携した医療AI研究の推進など、新たな挑戦を始めています。このような東北大学医学部で医学を学び次世代の医療・医学研究のリーダーを目指してみませんか。

東北大学医学系研究科長・医学部長
石井　直人　Ishii, Naoto

Profile

1989年　東北大学医学部卒業
1989年　東北大学附属抗酸菌病研究所小児科学教室入局
1995年　東北大学医学部細菌学教室助手
2003年　東北大学大学院医学系研究科免疫学分野准教授
2009年　同 教授
2023年　東北大学大学院医学系研究科長、医学部長に就任、現在に至る

沿革

医学部医学科

1817年(文化14年) 仙台藩が藩の学問所「養賢堂」から「仙台藩医学校」を独立させ、同時に施薬所(現在の大学病院に相当)を設ける

1872年(明治5年) 宮城県立医学所に改組され、医学部同窓会（艮陵同窓会)が同年を創立の年と定める

1907年(明治40年) 東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として東北帝国大学が設立

1915年(大正4年) 文部省令第10号により帝国大学医科大学として設置

1949年(昭和24年) 東北大学が国立学校設置法により新制大学となる

2015年(平成27年) 東北大学医学部開設から100周年

医学部保健学科

1913年(大正2年) 4月、附属医院看護婦養成所（県立宮城病院看護婦養成所を移管)を設立

1915年(大正4年) 医科大学開設に合わせ、医科大学附属医院看護婦養成所に改名

1919年(大正8年) 医学部附属医院産婆養成所が開設

1945年(昭和20年) 附属医院厚生女学部の設置

1951年(昭和27年) 医学部附属看護学校・医学部附属助産婦学校を設置

1953年(昭和28年) 医学部附属診療エックス線技師学校を設置

1962年(昭和37年) 医学部附属衛生検査技師学校を設置

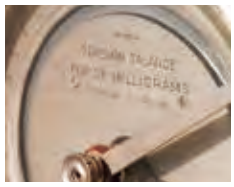
1973年(昭和48年) 上記を医療短期大学部として統合

2003年(平成15年) 医学部保健学科を設置

往診医携帯小道具

タイガー計算機

解体新書


Torsion Balance

北斗七星になぞらえて

ロゴマーク

東北大学設立の直接の基礎となった東北帝国大学は、東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として明治40年（1907年）に創立された。この時の開学の祝賀歌は、この大学を天の中枢を指す北斗の姿になぞらえて、東北の光と讃えている。すなわち、北斗七星には、北極星の様な不動の真理を求め、さらに広く世人の道しるべとなろうとする本学の理念が象徴されている。

詳しくはこちら

TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2024

INDEX

医学科 School of Medical Sciences ＞P05

最先端医療・医学研究を体験し、グローバル社会で自立する明日の医学を担う人材の育成を目指します

●カリキュラム・ポリシー ＞P06
●学びの流れ ＞P07
●留学 ＞P11

保健学科 School of Health Sciences

●カリキュラム・ポリシー ＞P16
●進路 ＞P20

【看護学専攻】＞P17
‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

【放射線技術科学専攻】＞P18
安全・正確・高精度な放射線技術へ可能性は広がり続けます

【検査技術科学専攻】＞P19
病気の原因・治療方法を判断するための先端技術を学びます

鼎　談

医学部長
石井 直人 Ishii, Naoto
×
医学科長
高瀬 圭 Takase, Kei
×
保健学科長
本間 経康 Homma, Noriyasu

人類の未知の問題に挑み 医療の未来を拓くために

医学・医療技術の急速な発展の一方で少子高齢化に伴う課題、新型感染症などの新たな脅威があり、医療従事者に求められる知識は増え続けています。予測困難な未来の医療を担う東北大学医学部を目指す高校生に向けて、大学時代に培うべき力、そのために用意している教育の特色、将来に向けた期待を、本年度新たに医学部長、学科長に就いた3人に語ってもらいました。

答えのある知識の習得に加え 自ら問題を見つけ解決する力を

――医療従事者に必要な知識が増加し医療ニーズが多様化する中、医学部の学生はどんな力を担う必要があるでしょうか。

本間　一つは高校生の皆さんが勉強されてきた、正解と思われるものが分かっていることに対する勉強や知識を整理する能力です。保健学科の場合は4年間の後に国家試験でその知識を問われることになります。もう一つは、正解が今のところ分かっていないものへの応用力、対応力。医療の現場で患者さんと接する中では知識だけでは解決できない、正解が一つとは限らない問題もありますので、その対応力も培っていただく必要があります。

高瀬　先人が築き上げた医学の膨大な知識を覚えて、医師としての能力を身に付けるのは、受験勉強に通じると思います。一方で、臨床でも基礎研究でも、ここまでしか分かっていないとか、ここから先は治せないとか、そういう限界に案外早く突き当たるはずです。その時に、世の中や患者さんが何を求めているのかというニーズを拾い上げる力、本間先生のおっしゃった、正解のないものを自分で問題提起して解決する力が求められていきます。

石井　これまでの医学・医療は、例えばがんのような慢性疾患に関して、分子生物学やゲノム医学の知見を結集し、その患者さんに適切な個別化医療を構築しようという流れが世界的にありました。ところが新型コロナが出てきて、公衆の健康をいかにして守るかとか、危機対応としてワクチンをいかに早く接種するかとか、従来の医学が向かっていた方向とは別のニーズが現れてきたわけです。人類が経験していないようなことが起きて、医学・医療が求められることもより幅広くなりました。従って、これからの医学科あるいは保健学科の学生さんに求められるのは、未知のものに対応すべく自分で問題を発見して解決し得る能力、またその意識の高さだというお二人の意見に100％賛同します。

臨床現場を見て研究にも触れ 将来への実感を伴いながら学ぶ

――その力を付けるために、東北大学医学部にはどのような環境がありますか。

本間　知識を整理し正解を答えられるようにする部分は、医学部の専門科目でしっかり学んでいただけます。その次の、問題自体を探し解決することに関しては、保健学科では数年前に卒業研究の時間を倍ほどに増やし、知識の整理だけではなく研究にも触れ将来に役立てられるカリキュラムになりました。4年間の制約があり国家試験もあるため、他の学部と比べると専門科目がぎっしりと入っているような状態ではありますが、他の大学の保健学科に比べると、研究に触れることに多くの時間を割いているのが特色の一つです。

高瀬　医学科でもまずは医師になるための教育が基本としてあって、それは最も欠かせないものです。東北大学ではかなりブラッシュアップされた講義を用意するとともに、十分な臨床実習の期間を設け、教育担当の下で実のある実習ができます。われわれの頃は1、2年の時に、いつになったら医学を学べるのだろうかと不安に襲われることもあったんですけれども、今は早期医療体験実習などにより、1年生の時から臨床医や研究者がどんなことをやっているか見て触れる機会があり、今学んでいる基礎医学が患者さんの役に立つ、必要な知識なんだと実感しながら学べるような工夫がされています。入学したら直ちに、6年後を見据えて学習意欲を高められるのが非常にいいところだと思います。

石井　ほかに、医学科の3年時には20週間研究室に配属する基礎医学修練がありまして、研究室配属では日本の医学部で一番長いのではないかと思います。学部時代に自ら研究に従事し、答えが存在するかどうかも分からないことに取り組むというのは貴重な機会です。研究者に限らず、将来医師あるいは技師、看護師になる方たちも一定期間そのような研究に取り組むことは、先ほど話した自ら問題を見つけて解決する姿勢を身に付ける上で非常に有益です。そこが東北大の教育の特長であり、卒業生が高く評価されている理由の一つではないかと考えています。

（写真左から）高瀬圭／医学科長（放射線診断学分野：教授）、本間経康／保健学科長（医用画像工学分野：教授）、石井直人／医学部長（免疫学分野：教授）

生活全般を通して人間力を育み その力を融合し医療発展へ貢献

――将来的に臨床や研究の現場で活躍できる人になるために、大学生活をどんなふうに過ごしてほしいですか。

本間　リベラルアーツと一言で言えば簡単ですけれども、一見医学に関係ないことも含めた知識があるからこそ気付けることも多いので、幅広く教養を身につけ、学業以外でもいろんな体験をして人間力を高めていただきたいですね。サークル活動などを通して学ぶ人間関係やリーダーシップの取り方は、臨床の現場に出た時にも使えるスキルになると思います。

高瀬　個人の力で突破できることは基礎研究の部分を除くと限られていて、その後世界で幅広く患者さんに新しい医療を開発するような時は、周りを渦のように巻き込む力が必要になってきます。学生時代というのはその縮図でもありますので、部活動やサークルに限らずアルバイトなど私生活全般を通じて、周りの人を巻き込む力を鍛えてもらいたいです。

石井　人類の未知の問題に取り組むために、リーダーシップを取れる人材になれればいいですし、巻き込まれる側でも大きな貢献ができますから、どちらにしても自分の人間力を培うのは重要だと私も思います。学生時代にしかできない有益なことに挑戦する際には、われわれ教員も大いに応援しますし、そのための制度もありますので、ぜひ学生生活をエンジョイして、いろんなことに挑戦してほしいですね。

高瀬　東北大学は全体が非常にレベルの高い総合大学であり、例えば新しい医療機器を開発しようという場合に、工学系の学部や研究所があって、学内に適切な、しかもピカイチの専門家がいることも強調しておきたいです。在学中に他の学部の研究者や学生と友達になって、将来一緒にこんなことをしようと夢を語れるような学生生活を送ってもらいたいです。

石井　本間先生は医工学の教授を兼任されていらっしゃいますので、そうした知の融合について、ぜひ一言頂けますか。

本間　日本の大学で独立研究科として初めて医工学というものを標榜したのが東北大学で、医療系、工学系はもちろん、それ以外の学部を出られた方も在籍しています。そういうさまざまな分野の専門家同士が物理的に近くにいると、自然発生的にいろいろな効果が期待できます。改めて誰かを探すとか、技術を求めるとかしなくとも、自然に融合が生まれる組織になっているのは非常に大きいことだと思います。

失敗を恐れず夢を持って挑戦し 世界の未来に貢献できる人材に

――そのように恵まれた環境が周りにある東北大学医学部を目指す高校生に向けて、メッセージをお願いします。

本間　大学での数年間は人生の中で非常に中身の濃い時期です。その間、同じ志を保つというのは大変なことですので、医療に携わるという高い志をしっかり確認して入ってもらいたいのが一つ。それから、解決するのが難しい問題だからこそ挑戦するわけで、失敗も覚悟してほしいです。学生の間は大概の失敗は致命傷にはなりません。失敗を恐れて何もしないのではなく、たとえ怖くても挑む挑戦心のある方に入ってきていただければと思います。

高瀬　東北大学の医学部に入ってくる人たちというのは、良い医療者になるのはもちろんですが、日本の医療を良くする使命を持っていると思っています。目の前の病気、患者さんを治すことだけではなく、社会全体を良くするために医療がどうあるべきか、そんなところまでも幅広い視野で考えられる医療人になるという自覚と夢を持って入ってきてほしいですね。

石井　もしかしたら無理かもしれないと思うようなことにまで若いうちにチャレンジをして、いろんな経験を積んだ人こそが日本の未来、世界の未来に貢献できる医療人材もしくは研究者になっていけるんだと思います。東北大学には何かに挑戦したければ何にでも挑戦できる環境が全てそろっていて、その先の人生におけるありとあらゆる選択肢を選べます。医療従事者になりたい人はもちろん、それ以外のさまざまなことに向かえる人を育てていますので、将来の選択肢を広げたい方はぜひ医学部に入っていただきたいなと思います。

（2023.3.29 取材）

School of Medical Sciences

医学部 医学科

最先端医療・医学研究を体験し、グローバル社会で自立する明日の医学を担う人材の育成を目指します。

医学科長　高瀬 圭
Takase, Kei

医学の急速な進歩の中で、優れた医療と創造的医学研究を行うには、幅広い好奇心と飽くなき探求心を持って学び続けることが必要です。医学科では、実践的医学教育と共に、知を楽しみながら真理を探究する心を涵養する教育を提供します。

詳しくはこちら

ゲノム医療や再生医療などの最先端医療は、基礎医学と臨床医学の両輪によって実現されます。本学科では、世界トップレベルの研究と医療の現場を教育環境として、学生と教員の信頼関係の上に高度専門教育を提供し、グローバル社会でリーダーシップを発揮できる人材育成に取り組んでいます。

教育理念

東北大学医学部医学科は、教員と学生相互の協調により強固な教育基盤を構築し、医学・生命科学の根元を解明する研究および教育を実践し、豊かな人間性と旺盛な探求心を育み、人類の健康と福祉に貢献する指導的高度専門職業人を育成する。

教育目標

東北大学医学部医学科の学生は、将来、医学・医療の様々な領域において指導力ある医師・研究者となるために、6年間の医学部教育において6つの教育目標を達成する。

❶ **プロフェッショナリズム**
医師としての基本的な素養と習慣、倫理観を身につける。

❷ **医学知識**
医学の根幹となる基礎医学・臨床医学の理解を深め、それらを統合し応用する能力を身につける。

❸ **コミュニケーション**
医師としての基本的な対人関係能力を身につける。

❹ **診療技能**
患者情報の収集と病態の推論・判断・対応を適切に行うために、臨床技能と医療安全の基本を身につける。

❺ **科学的探究**
医学における未解決問題を見出し、科学的理論と方法により解決に取り組む能力を身につける。

❻ **地域と世界における医療**
地域・国・世界の医療を俯瞰し、健康・疾病の動向と保健医療システムを理解する。

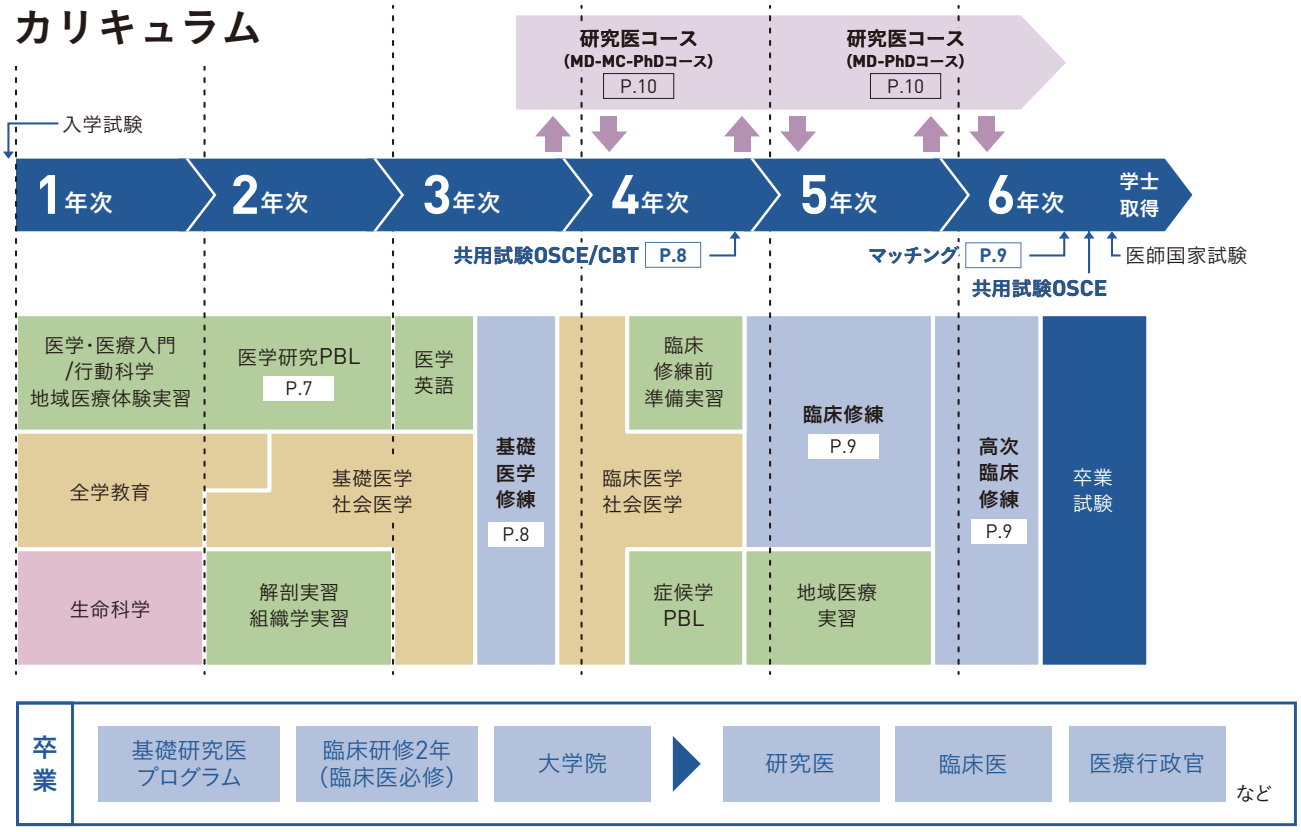
医学部医学科のカリキュラム・ポリシー（抜粋）

1 1、2年次は全学教育科目として幅広い一般教養科目と専門教育に活用可能な科目を提供する。1年次より専門教育科目を開始し、医療人、医学研究者として必要な基本的知識・技能・態度を6年間で段階的に修得させる。

2 研究第一の理念に則り、長期に亘り研究に従事し成果を発表する期間を設ける。医学研究PBL、基礎医学修練、高次臨床修練によって、医療リーダーや医学研究者として必要な能動学習・自己研鑽の技能と態度の涵養をはかる。

3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

カリキュラム



医学部医学科のディプロマ・ポリシー

1 生命現象、人体構造並びに様々な疾患について、分子レベルから細胞・組織・器官・個体レベル、さらに地域・社会・国際レベルに及ぶ国際標準の知識を有している。未解明の事象に挑み創造的研究を行って先端領域を切り開き、成果を世界に発信する能力を有している。

2 優れた倫理観と暖かい人間性を備え、科学的根拠に基づく医療を実践する基本的能力を習得している。地域に密着して医療を実践するとともに、国際社会に医療貢献する能力を有している。

3 医療の実践と医学の研究を通して、我が国の医学研究、教育、医療を支えると伴に、ワールドクラスの研究の推進、新しい学問の創造、人類への貢献を担う能力を有している。多職種間の連携・協調、学際的研究交流等を円滑に行うコミュニケーション能力とチームを率いるリーダーシップの素養を有している。

School of Medical Sciences

医学部 医学科

1年次

全学教育科目の開始

1年次は全学教育で幅広い教養を身につけるとともに、専門教育の基礎となる3科目類から構成される科目も履修します。全学教育科目には「生命科学」の講義もあり、必修科目として医師として必要な人体の生物学を学びます。

Pick Up Curriculum　研究室訪問

新入生には、入学後間もない5月～6月に、研究室を訪問し研究テーマなどを取材する機会を用意しています。続いて、7月までに医学研究に不可欠な遺伝子組換えや実験動物の取扱に関する講習を全員が受講し、様々な研究に参加する準備が整います。これをきっかけに研究室に通い始め、研究に着手する1年生もいます。

医学専門教育科目の開始

1年次の専門教育科目として「医学・医療入門/行動科学」があります。これは複数のテーマからなるグループ学習・実習・講義で、1年間続きます。例えば少人数ワークショップでは、医師として必要な職業倫理、患者の権利や利益に関する基本原則などを自ら考え、グループ内、グループ間で議論します。早期医療体験実習では、血圧測定、心肺蘇生法、車椅子介助や高齢者介護の基本スキルを身につけた後に医療・介護施設を訪問し、実際の現場を体験します。また東北大学病院内では様々な職種のスタッフが医療に深く関わっていることを見聞し、チーム医療の重要性を認識します。医療コミュニケーション実習では、いくつかのテーマで模擬患者さんを対象として医療面接のトレーニングを行います。また、希望者には東日本大震災の被災地の現状を視察する実習も行われます。後期からは、基礎科目の中の「解剖学・生理学序説」、「医化学」、「免疫学」、「放射線基礎医学」「遺伝学」が始まります。

2年次

解剖実習の開始

約3カ月にわたり、解剖実習が行われます。解剖実習は単に人体の肉眼的構造を知識として習得するだけではなく、献体された方々と献体に深い理解をくださったご遺族に対する感謝の気持ちや、社会の人々の期待に応える自覚を持つことによって、将来医師に進む上での大きな精神的教育にもなります。
また1年次から続く専門科目として「生理学」「組織学」「発生学」「薬理学」「病理学」「微生物学」が始まります。
またこの学年では「医学研究PBL」が行われます。PBLとはproblem-based learning（問題解決型学習）の略で、医学のさまざまな最先端のテーマについて、自ら問題点と学習項目を発見し、グループによる討論・発表を行います。

Pick Up Curriculum　医学研究PBL

学生はいくつかの先進的な医学研究に関するテーマから最も興味を持ったものを選び、初めに教員によるミニレクチャーを聴講します。その後、少人数のグループで課題を抽出して仮説を立て、その仮説を検証するために必要な情報を自ら収集し、最後に発表と討論に臨みます。これらの過程を通して、学生は将来、医学研究を実践するために必要な探究心、問題抽出能力、柔軟な思考を涵養します。

3年次

基礎医学修練の実施(研究室配属)

3年次には、社会医学系専門科目として「公衆衛生学」「衛生学」「法医学」に加え「医の倫理学・社会学」が始まります。また4月から「医学専門英語」としてE-learningと医学英会話のグループ学習を行います。
夏休み明けには、「研究第一」を建学理念とする東北大学の特徴である、「基礎医学修練」が行われます。各基礎系・社会医学系分野および基礎研究も実施している一部の臨床系分野に、学生が研究者として所属し、そこで20週にわたって研究を行うというものです。中には海外の研究機関で基礎医学修練を行う学生(25名程度)もいます。そして最後にその成果を口頭あるいはポスターを用い、学会形式で報告・討論を行います。なお、冬期休暇が明けた後、臨床系専門科目の講義が始まります。

Pick Up Curriculum　基礎医学修練

複数の医学部でも学生の基礎系分野配属は行われています。しかし、本医学科で行われている修練は他大学にはない、特記すべき点があげられます。即ち、1)修練期間中は月曜から金曜まで、2)その間は朝から夕方まで、フルタイムであること。 3)配属分野は学生の希望をできるだけ優先し、4)最大でも各分野4-5名程度の少人数教育であること。 5)分野によっては、ある期間、海外での修練も可能であり(毎年25名近くが海外研修を体験)、6)一部の成績優秀な学生には奨学金によるサポートがあること。 7)多くの学生が研究成果を発表しますが、その運営は学生主体であり、8)発表者の中から優秀者の表彰があることです。

4年次

臨床系専門教育

この学年では、臨床実習を開始するために必要な臨床に関する医学的知識を習得するだけではなく、臨床的な技能と態度を身につけます。臨床分野は多数の診療科に分かれています。しかし人の病気は一つの診療科だけに限られるわけではありません。また、病気の徴候は人によって様々であり、それぞれの専門性だけに頼ると、診断や治療の遅れにもなりかねません。そこで本医学科ではつながりの深い複数の診療科をとりまとめ、それぞれのブロック別に講義と試験とを実施します。4年生は全てのブロックの試験に合格した後、改めて2種類の全国医学部共通の試験(共用試験)を受け、この合格をもって、「Student Doctor(学生医)」が付与され、次の臨床実習に進むことになります。

Pick Up Curriculum　臨床修練前準備実習

全国医学部共通の試験(共用試験)では医学的知識を問うCBT(Computer-based testing)の他に、実際の臨床技能と態度を測る客観的臨床能力試験OSCE(Objective structured clinical examination)が行われます。従前の医学教育は医学知識重視型でしたが、現在では医学生のうちから医療面接や身体診察などの基本的な臨床技能と態度の習得が重要視されています。そこで本医学科では臨床修練がスタートする前に、8-9名のグループに分かれ、ローテーション形式の実習で、臨床実習に参加するために必要とされる技能と態度をしっかりと習得します。

5年次

Student doctorとして診療に参加

4年次後半から臨床修練(臨床実習)が開始され、以後の4年次と5年次は臨床修練に費やされます。
この期間、多くの診療科(一部は選択)をローテートします。大学病院では、一つの診療科は複数の医療チームから構成されていることが多いのですが、原則、その一つに所属し、患者さんの診察、指導医へのプレゼンテーション、診断・治療方針に関してのディスカッションを通じ、診療参加型臨床実習を行います。
診療科によっては、地域の病院への派遣も行われます。なお、カリキュラム外の企画として、東北大学と関連の深い病院が多数参加する臨床研修病院説明会が、主として5年次と6年次の学生を対象として開催されます。

6年次

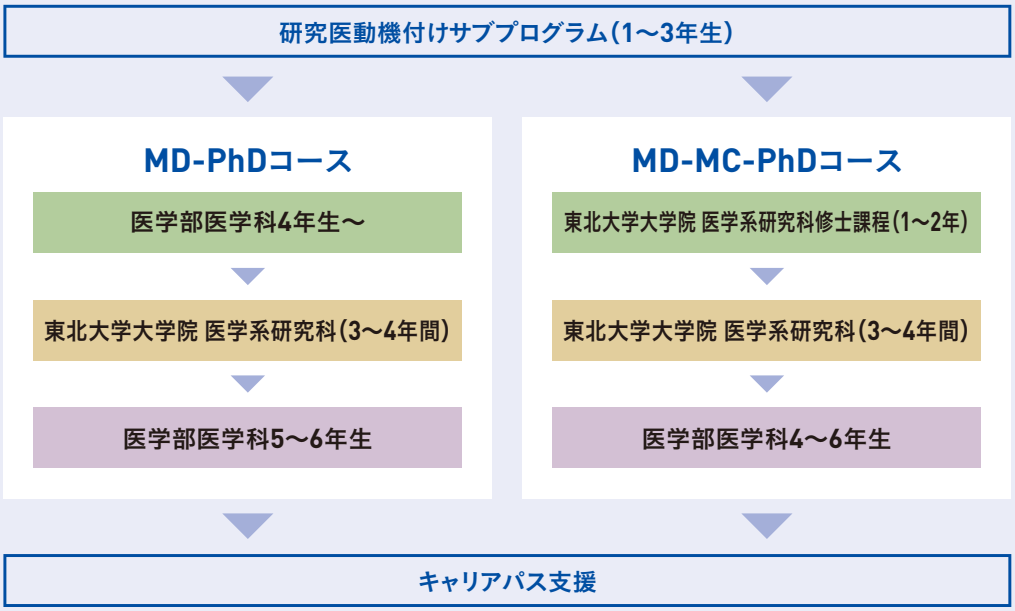
高次臨床修練で研鑽

医学科6年生は希望する診療科に4週間単位で配属になります。
学生は各科の医療チームの一員となって診療に従事します。また、交換留学制度等により海外の大学・医療機関での実習も可能です。
多くの医学生は、今後進みたい診療科を念頭に入れて選択することが多いようです。なお、この高次臨床修練の期間の間に臨床研修マッチング登録を行い、最終的な研修病院先は秋に決定されます。
6年次後半は、卒業試験を経て医師国家試験への準備期間となります。
卒業試験では共用試験臨床実習後OSCEも行います。

研究医養成の取り組み

研究医養成プログラム

東北大学では、医療の発展に寄与するため研究医を養成すべく、研究医養成プログラムを実施しています。
東北大学大学院医学系研究科では、「研究医養成プログラム」にもとづき、医学研究を志向する医学部医学科学生に対し、早期に研究を発展させる機会を与えることによって、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者を養成することを目的とした研究医コース（MD-PhDコース）と、基礎医学修練から切れ目なく継続的に研究を発展でき、海外留学中での受験や長期間の海外での研究が可能な研究医コース（MD-MC-PhDコース）を設定しています。



Study Abroad

留学

学生の学習や研究の可能性を広げる場をつくります。

国際化推進と英語コミュニケーション能力の開発

医学科では教育目標として6つの領域を定め、その中に「コミュニケーション」と「地域と世界における医療」が含まれます。具体的な到達目標（アウトカム）としては、「英語で医学・医療に関するコミュニケーションができる」、「地域から世界規模までの疾病の動向を説明できる」等を掲げています。
このアウトカムを達成するため、6年間のカリキュラムに、英語コミュニケーション能力開発プログラムと海外留学の機会が設けられています。3年生の4月から行う医学英語の授業では、外国人講師による少人数グループ英会話と、医療英語専用のe-Learningソフトを用いて、国際人としての英語コミュニケーション能力を高めます。英語で患者さんを診察するトレーニングと能力評価の実技試験も組まれています。3年生の夏に始まる研究室配属では、例年25人前後が北米、アジア、ヨーロッパ、オーストラリアなどに留学します。トップレベルのラボで最長で5か月

留学参加レポート

留学先 オーストラリア・メルボルン大学

参加期間 2022年8月25日〜11月25日

医学科4年生　須田 朱音さん
［宮城県仙台第二高等学校出身］

私は基礎医学修練の3ヶ月間、オーストラリア・メルボルン大学のThe Florey Institute of Neuroscience and Mental Healthという研究機関に所属し、アルツハイマー型認知症の新規の早期診断バイオマーカーの探索に関する研究を行いました。日本では毎朝7時から実験を開始する習慣でしたが、メルボルンでは10時ごろに実験開始、途中研究の手を止めて、午前中には定期的に開かれる軽食とともに他の研究者との雑談を楽しむ会があり、金曜日の午後にはラボのメンバーとスポーツを楽しむなど、日本との違いに驚きながらも楽しく充実した研究生活を過ごしていました。ラボの建物内には美術館も併設されており、ワークライフバランスを重視した働き方をしながらも、高い研究成果を上げていることは、非常に刺激的でした。また滞在期間中には友人の紹介で他大学のMonash Universityでの実験や病院のPETなどの施設見学の機会に恵まれ、実りの多い留学となりました。私にとっては初めての海外留学かつ、一人暮らしと挑戦続きの留学でしたが、日本人が誰一人としていない非日常の環境でも、国籍・文化の壁を超えてたくさんの人脈を築くことができ、成長を実感できた有意義な研究生活でした。留学時にできた多くの友人とは、帰国後の今でもつながっており、近い将来世界のどこかで再会できることを楽しみにしています。

主な留学先

アメリカ
国立衛生研究所(NIH)
ヴァンダービルド大学
カリフォルニア大学サンフランシスコ校
サンフォードバーナムプレビス医学研究所
サンフランシスコ総合病院
ジョンズ・ホプキンス大学
ハーバード大学
ハワイ大学
マサチューセッツ総合病院
ミシガン大学
メイヨークリニック
イェール大学
スタンフォード大学

イギリス
エクセター大学
リーズ大学
サウサンプトン大学
バース大学

ネパール
カトマンズ医科大学

スイス
チューリッヒ大学

台湾
台北医学大学

ノルウェー
ベルゲン大学

シンガポール
シンガポール国立大学

スウェーデン
カロリンスカ医科大学

オーストラリア
グリフィス大学
西オーストラリア大学
メルボルン大学

タイ
タマサート大学
チェンマイ大学
マヒドン大学

フィリピン
サンラザロ病院
熱帯医学研究所(RITM)

に亘って最先端の研究に打ち込み、帰国後は「海外研究留学発表会」を行い、成果を報告します。この発表会は、国際学会を模して英語で発表・討論を行い、1年生も聴講して2年後の留学を考える機会としています。また、優れた成果を上げ、研究成果を国際学会で発表したり論文に発表する学生も少なくありません。

6年生で24週間行われる高次臨床修練では、同じく25人前後が4週間海外留学し、現地の医学生とともに臨床実習を行います。疾患や医療制度の異なる海外で異文化に接しながら行う実習は、とても有意義な経験です。留学から戻った6年生は、秋に4年生対象の「高次臨床修練海外実習報告会」を開催して、後輩に体験を伝えます。

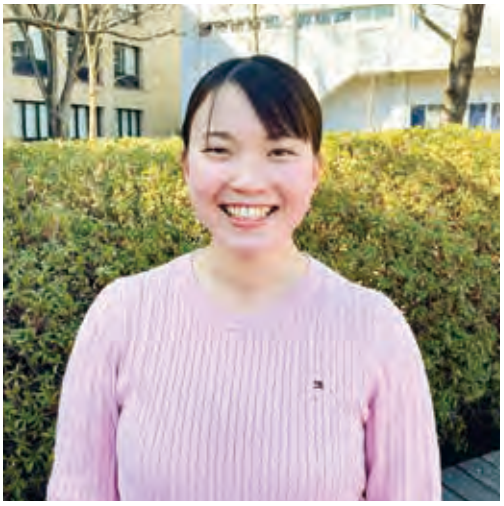
留学先 スウェーデン・カロリンスカ医科大学
参加期間 2022年9月5日～9月23日

鹿児島県立大島病院　飯塚 友理子さん
[令和5年3月卒業]

私は医学部6年生の9月に、スウェーデンの首都ストックホルムにあるカロリンスカ医科大学の移植外科に3週間留学させて頂きました。3週間の間で、毎朝の病棟カンファレンスや回診の他、数多くの移植手術に参加することができました。スウェーデンは臓器のドナー数が日本よりも格段に多く、肝臓移植や腎臓移植の手術を何度も間近で見て学ぶことができました。先生方はとても教育熱心で、手術中は手順や解剖を丁寧に解説してくださいました。また、ドナーが現れた際には、車で2時間離れた町まで連れてってくださり、ドナーからの臓器摘出手術も経験することができました。空いた時間にはカロリンスカ医科大学の医学生に混ざって、一緒に外科の縫合手技のトレーニングを受けたり、医学の授業を聴講したりすることもありました。世界的にもハイレベルなカロリンスカの医学生との交流はとても刺激になりました。私は医学部3年生の基礎医学修練の際にも、半年間の海外での研究室留学を経験しました。医学部6年間の間で、海外留学を2度も経験させて頂けた環境に非常に感謝しています。これらの経験を通じて、将来は世界で活躍する医師になりたいという想いを一層強く持つようになりました。

Voice

学生の声



医学科6年生　小椋 夏生さん
[東京都立武蔵高等学校出身]

私は、世界でもトップレベルの診療、研究に触れたいと思い東北大学を志望しました。入学して5年が経ちますが、1年次から興味さえあれば研究ができる点、3年次には全員が研究室に配属される点、3年次6年次の基礎修練、高次修練で希望者は海外に留学ができる点、これらは特に本学に特徴的であると思います。このような環境で学ぶことで、将来の可能性を最大限広げながら、自分の興味のある方向を探っていくことができます。私は全学の部活に参加し、他学部の友人とも交流を持つことで、視野も広がり、何より楽しかったので、総合大学である点も魅力の一つだと感じます。ぜひ皆さんいらしてみてください。

Message

先輩からのメッセージ

東北大学病院 脳神経内科　渡嘉敷 直之さん
[令和3年3月卒業]

「なぜ沖縄から遠く離れた東北に」と言われてきましたが、研究の世界に憧れていた高校生には「研究第一」の理念はとても魅力的でした。本学では研修室に配属されて研究を行う期間が国内随一の長さとなっており、世界中の研究機関への留学もサポートされています。自分自身も入学してすぐに研究室の扉を叩きましたが、快く迎え入れて頂き、ご指導頂いたことは今思えば最高の環境だったと思います。勿論研究だけでなく、東北の医療の要である大学病院で学ぶ臨床医学や、全国から集まる同期と切磋琢磨して過ごす大学生活も医師となる上での大事な要素でした。多くの選択肢にあふれたこの環境で、ぜひ素敵な大学生活を送ってみてはいかがでしょう。

受験生向けWEBサイト

VOICE
話を聞いて、話をしよう

2023年1月26日に受験生向けWEBサイト「VOICE」を公開しました。「VOICE」では入試情報や学生が参加できるオープンキャンパス等のイベント情報、在校生がインタビューをした教員のメッセージを紹介しています。また現役医学部生200名にきいた受験に関するアンケートを掲載しています。

School of Health Sciences

医学部 保健学科

看護学専攻
放射線技術科学専攻
検査技術科学専攻

最新の知見に基づく保健医療の実践経験を通じ人々の健康と社会を支えるヘルスサイエンスを創造する人間性豊かな研究志向の人材育成を目指します。

保健学科長　本間 経康
Homma, Noriyasu

「すべての人に健康と福祉を」は、持続可能な開発目標の1つです。保健学科では、人が健やかに生きる豊かな社会を実現する人材を育てます。最新の知識・技術、新たな課題に挑む論理的で柔軟な思考力・創造力・発信力を育成します。

詳しくはこちら

教育理念

少子高齢社会の到来による社会状況や保健・医療を取り巻く環境の変化の中で、予防から健康管理までを一貫して考える総合医療が求められています。保健学科では、このような社会的要請に応えるために、人間性豊かで幅広い教養と確固たる倫理観を有し、かつ、科学的な知識と技術、そして冷静、緻密な総合判断力を備えた保健・医療専門職を育成します。また、人々の健康的な生活を支援するために、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアを実践できる人材を育成します。

教育目標

リサーチマインドを備えたヘルスサイエンス（健康科学）を牽引する、高度専門職、教育者、研究者を育成する。

❶人命を尊重し、豊かな人間性を持ち実践力を備えた医療人を育成します。
❷人間としての生活の質（Quality of Life）の向上を大切にする医療人を育成します。
❸チーム医療を柱に、総合的に医療現場を支援する教育を行います。
❹東北地方の地域性をも考慮した、地域医療をすすめる医療技術の教育を行います。
❺医学系分野と有機的に連携しながら総合的な教育を行います。
❻世界の人類に貢献しうる最先端の医療技術の教育を行います。

医学部保健学科のカリキュラム・ポリシー（抜粋）

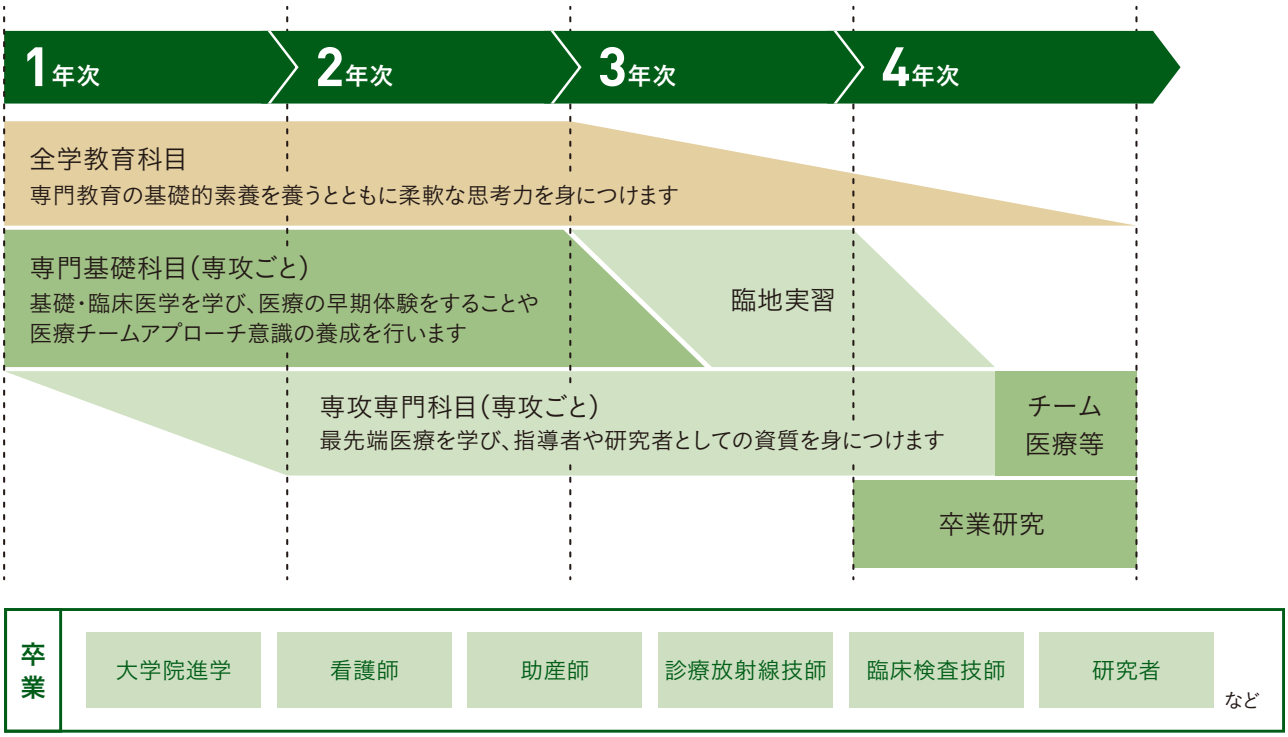
1 幅広い教養を修得するための全学教育科目を学ぶとともに、専攻の専門の基礎となる科目による動機づけ、専門の知識や技術の習得、臨地実習を通じた応用力の向上をはかる。

2 ライフサイエンス、ヒューマンサイエンスを探究する姿勢を尊重し、授業・実習、特に卒業研究によって研究マインドを涵養し、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍する能力を育成する。

3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

※全文は東北大学医学部ウェブサイトをご覧ください

カリキュラム（看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻）



医学部保健学科のディプロマ・ポリシー

1 高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を有している。

2 科学的根拠に基づく看護学・保健学・臨床医学及び医療技術を実践し、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を有している。

3 冷静、緻密な総合的判断の元に、優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健・医療に貢献する能力を有している。

看護学専攻 Nursing

‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

21世紀は‘ケア’の時代といわれています。では看護が担う‘ケア’の本質とは何でしょうか？看護は、人々が潜在する能力を最大限に発揮し、自らの生活を健康的な生活に整えていく過程を支援する活動です。たとえ、死の際にあっても健康的な生活が実現できるように支援することなのです。また、看護は病院、学校、職場、施設、日常の暮らしの場と人々の生活のあらゆる場で実施されています。そのため看護職には深い人間理解と高度な見識が必要となります。看護学は、これらを支える科学の分野です。

1年次

幅広い教養が身につく

幅広い教養を得るために全学教育科目を学ぶとともに、生命の尊厳を理解し、対象の人権擁護の基盤としての看護の哲学と倫理観を身につけます。学習成果の適正な評価とフィードバックによって、学生の内省・自己啓発と能力開発を促進します。

2年次

看護の基礎を学ぶ

看護の基礎となる科目の学習を通して、専門知識を習得します。看護専門職者として優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健･医療に貢献する基本的態度を学びます。また､リーダーシップ及びメンバーシップの役割を理解し、自己に課せられた責任を果たす態度を学びます。さらに、科学としての看護学を探究する姿勢を身につけるために研究の基礎を学びます。

3年次

知識と技術の基盤を作る

対象の特性に合わせて身体・心理・社会的ニーズを判断し支援するうえでの必要な知識・技術・態度を専門領域ごとに学びます。看護に関する様々な問題を正しくとらえて解決するための基本的な能力を身につけます。特に3年次からは現場での臨地(病院)実習が始まります。これらを通して社会の変動に伴うヘルスニーズを見極め、対象や地域の特性に応じた看護の役割を理解し、継続看護を提供できる能力を身につけます。

4年次

科学的かつ深い専門知識の習得

高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を得ながら、科学的根拠に基づく看護を実践し、他の保健・医療等の専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を身につけます。そして、卒業研究によって研究マインドを育み、看護学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍できる能力を身につけます。さらに、看護職者として自己評価ができ、自ら学習を継続し専門職業人として生涯成長しつづけていくことを学びます。

放射線技術科学専攻 Radiological Technology

安全・正確・高精度な放射線技術へ
可能性は広がり続けます

放射線医療には画像診断、核医学、放射線治療の3つの領域があり、超音波・磁気・X線・放射性同位元素によって人体の内部を画像化し診断すること、疾患部を放射線によって治療することを行っています。放射線医療は安全で正確かつ高精度に施行されることが絶対条件であり、その基盤となる学問が放射線技術科学です。放射線技術科学は医学と放射線の基礎から医療機器の理論、診断画像の撮影および構築法、放射線治療および生物学、放射線計測法および管理など広範囲な学問領域からなります。

1年次

幅広い教養を習得し人間性を深める

1年生では主に幅広い教養を修得するための全学教育科目を学びます。これにより人間性を深め、将来医療、医学の現場で活躍するための土台を構築します。加えて専門教育への橋渡しとしての専門基礎科目も学びます。これによりシームレスに基礎学問から応用学問の習得を進めることができます。

2年次

一般教養から専門への橋渡し

診療放射線技師が扱う放射線などは物理学の法則に基づいています。また、放射線機器を知るためには工学の知識が必要になります。この放射線機器を扱い、医療に携わるためには、医学・生物学の知識も必要です。この観点から、2年次では理学、工学、医学の基礎を学び、3年次以降のより専門的な教育へスムーズに橋渡しを行います。

3年次

幅広い専門知識とその実践を学ぶ

3年生では放射線技術学の専門知識をさらに深めます。後期からは、数名のグループに分かれ、東北大学病院や近隣病院で臨地（病院）実習を行います。臨地実習を通して、講義や実験等で修得した基礎知識を医療の現場でどのように適用し応用すべきかを学ぶとともに、最先端の診療技術や患者さんの接遇について実体験します。最先端機器を実際の目で見る貴重な機会であるとともに、診療放射線技師の社会的役割を認知し、患者さんや医師および他のメディカルスタッフ等との関わりに関しても間近に接することができる良い機会です。

4年次

研究マインドを身につける

4年生の前期は、3年生に引き続き病院実習が行われます。それと並行して、7分野に分かれて卒業研究が始まります。卒業研究では、研究の一端に触れることで研究マインドを身に着けます。将来、放射線技術科学の指導者や教育者並びに研究者として、当分野を支え得る質の高いすぐれた人材の育成を目指します。例年、11月下旬頃に卒業研究発表会が開かれ、研究成果を皆の前で発表し、活発な質疑応答が行われます。研究の一端に触れることはもちろん、発表の技術を身につけることも卒業研究の重要な目標の1つです。

検査技術科学専攻 Medical Technology

病気の原因・治療方法を判断するための先端技術を学びます

臨床検査全般に関する学問領域です。現在の医療において、検査は診断・治療の指針となる重要なデータを提供しています。生体成分の質的・量的変動を捉える化学検査、体内に侵入した病原菌・ウィルスを特定する病原検査、組織や細胞の形態的変化を捉える病理検査、生体の活動を直接捉える生理検査や画像検査、輸血・移植領域で欠かせない免疫学的検査などがあり、これら検査法の開発・応用や病態との関連を解析するなどの研究を行います。

1年次

専門教育へ向けた基盤づくり

人間性豊かで幅広い教養と優れた倫理観、深い専門知識を有する臨床検査技師の育成へ向けた学習の第一歩を踏み出します。特に、東北大学共通の全学教育を学ぶことで幅広い教養と柔軟な思考力を身につけ、専門教育の早期開始により専門知識修得へ向けた動機付けを行います。

2年次

週の大半が専門科目に

専門科目の授業が本格化し、生活の主体は星陵キャンパスに移ります。1年次に学習した全学教育科目の知識をスタートラインとして、より専門的な新しい知識と出会う毎日です。実習科目も開始され、「検査」を体感しながら技術を身につけ、知識を整理してゆきます。臨地（病院）実習に行くための基礎作りの学年です。また、検査の確かな腕を身につけるため、そして講義で学んだことを実際に体験して理解を深めるために、多くの実習があります。3年次の臨地実習、4年次の卒業研究に向けて実験の進め方や結果に対して論理的に考察することを身につけます。

3年次

専門科目の総仕上げ

3年次は、学内実習が中心の前半と臨地実習が中心の後半に大きく分けられます。前半の半年間は午前に講義、午後に実習を行い、後半の臨地実習に向けて知識と技術をまとめます。そして後半が臨床の現場を体験する臨地実習になります。この実習を通じて臨床検査技師という職種が病院という組織の中で果たしている役割を学びます。そして、自分が大学で学んできた知識と技術がどのような意味を持ち、どのようなことに役立つのかを肌で感じることができます。このような経験を通して、卒業後の自分の進路を考えていくことになります。

4年次

充実した研究活動ときめ細かな国家試験対策

卒業研究では、4月～11月まで8か月間にわたり、検査専攻内の各分野に加え、大学病院・医学科・加齢研などの様々な研究室に配属され、充実した研究生活を送ります。卒業研究で研究の面白さに目覚め、大学院博士前期課程（修士）に進学する学生さんも数多くおられます。また、並行して、学内で数回にわたり臨地実習筆記試験・国家試験模擬試験を行うことに加え、試験直前には国家試験問題講習会を行い、きめ細かな国家試験対策を行います。

進路 Career Path

就職だけでなく、大学院に進み、研究者への道を選ぶ卒業生も多くいます。

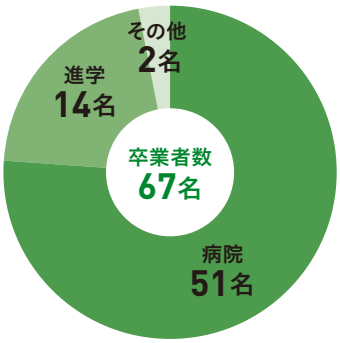
看護学専攻

在籍者数 （令和5年4月1日現在）

282名（男20／女262）

学年	男女別	計
1年	男8／女65	73
2年	男6／女68	74
3年	男3／女67	70
4年	男3／女62	65

進路別割合 （令和5年4月1日現在）



主な就職先

宮城県　東北大学病院
宮城県　仙台赤十字病院
東京都　東京大学医学部附属病院
東京都　虎の門病院
など

主な進学先

宮城県　東北大学大学院医学系研究科
など

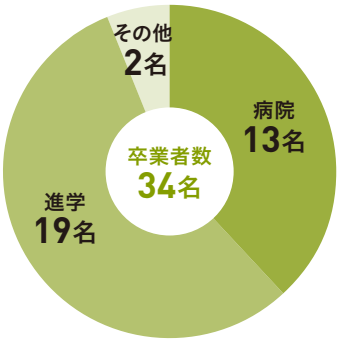
放射線技術科学専攻

在籍者数 （令和5年4月1日現在）

158名（男83／女75）

学年	男女別	計
1年	男18／女20	38
2年	男21／女20	41
3年	男21／女19	40
4年	男23／女16	39

進路別割合 （令和5年4月1日現在）



主な就職先

宮城県　東北大学病院
宮城県　東北公済病院
宮城県　宮城県立がんセンター
東京都　慶應義塾大学病院
など

主な進学先

宮城県　東北大学大学院医学系研究科

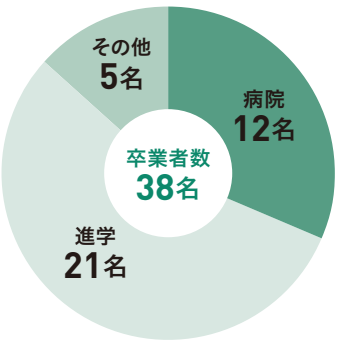
検査技術科学専攻

在籍者数 （令和5年4月1日現在）

151名（男40／女111）

学年	男女別	計
1年	男12／女26	38
2年	男12／女29	41
3年	男7／女30	37
4年	男9／女26	35

進路別割合 （令和5年4月1日現在）



主な就職先

宮城県　東北大学病院
宮城県　仙台市立病院
宮城県　仙台赤十字病院
秋田県　秋田赤十字病院
など

主な進学先

宮城県　東北大学大学院医学系研究科
など

Voice

学生の声

看護学専攻 4年　渡部 まどかさん

［山形県立鶴岡南高等学校出身］

私は、仲間と高め合える環境や選抜を経て助産師も目指すことができる点に魅力を感じ、看護学専攻に入学しました。講義、演習などを通して、看護技術の習得だけでなく、患者さんに「寄り添う」とはどのようなアプローチなのか、患者さんやご家族と関わるうえで大切な姿勢について学ぶことができました。3年次からの病棟実習では、「とても心強かった、ありがとう」と涙する患者さんを前にし、「あなたを大切に思っています」という自分の思いや温かさを、看護を通して伝えることができる喜びを実感しました。みなさんも看護学専攻での4年間の学びの中で、自分の目指す看護師像を模索してみませんか。

放射線技術科学専攻 4年　佐々木 永仁さん

［宮城県古川高等学校出身］

放射線技術科学専攻では、診療放射線技師を目指して放射線を多面的に学びます。放射線の発生原理から、様々な検査装置の仕組みと撮影技術、放射線の計測・防護や治療など、幅広く学習します。3年次後期からは東北大学病院で病院実習が行われ、座学で学んだ知識や技術を自分の目で見て、更に理解を深めます。また、卒業研究では自分の興味がある分野の研究を行うことができます。いち早く研究者としての素養を磨く環境が整っており、大学院に進学して研究を行う人も多いです。卒業後は診療放射線技師として病院に就職するだけではなく、医療関連企業への就職や大学院進学など、自分に合った進路を選択できることも本専攻の魅力のひとつです。キャンパスで皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

検査技術科学専攻 4年　内堀 永梨果さん

［長野県上田高等学校出身］

医療の道に進みたいと考え、医療職を調べる中で臨床検査技師という職業を知りました。臨床検査は、微生物・血液・尿・病理などの患者さんの検体を扱う検査から、心電図・超音波・脳波など実際に患者さんの身体を調べる検査まで幅広いです。検査技術科学専攻では、1・2年次の講義や学内実習で基礎的な専門知識や手技を身につけ、3年次に臨地実習を行います。臨地実習では、模擬検体を使って自分たちで検査を進め、検査結果の検討を行い、これまで学んできた知識と技術がどのような意味を持つかを実感することができます。また、研究が盛んで卒業生の半数が大学院へ進学します。そのため、進路先も病院への就職のほか、医療関連企業や研究機関への就職といった選択肢があることも本専攻の特徴のひとつです。ぜひ一度、オープンキャンパスなどに足を運んでみてください。

Message

先輩からのメッセージ

東京大学医学部附属病院　田中 智理さん

[令和5年3月看護学専攻卒業]

私は、がん看護専門看護師に興味があり、看護学専攻に入学しました。本専攻において、様々な分野を学び、先生や先輩方の研究について知っていく中で考えが変化し、助産師を志すようになりました。助産師国家試験の受験資格を得るには、卒業要件の他に助産師の科目の履修が必要となります。これらの科目を履修することで助産に関する専門的な知識を得ることができ、実習では妊産婦さんと関わるという貴重な経験をすることができました。また、国際交流や課外活動にも積極的に挑戦し、東北大学グローバルリーダー認定証を取得することができました。本専攻では、面白い授業、貴重な実習、多岐に及ぶ研究によって自分の進路を決めるきっかけを掴むことができます。本専攻で大切な自分の将来を構成してみませんか？

東北大学病院　小林 由佳さん

[令和5年3月放射線技術科学専攻卒業]

放射線技術科学専攻では1・2年次に放射線の基礎から専門的な知識まで幅広く学び、3年次からは病院実習を通して、様々な撮像技術や放射線治療について、目の前で学ぶことができます。病院実習は大変なイメージがあると思いますが、それまでに得た知識を深められるだけでなく、実際に働いている診療放射線技師の先輩方と関わる中で、自分の進路や理想の診療放射線技師像について考えるきっかけにもなります。3年次後期からは、卒業研究が始まり、自分の興味のある分野について追究することができます。充実したカリキュラムと最先端の研究を行っている先生方の指導のもとで、豊富な知識と技術を身に付けることができるのが、本専攻の特徴であると考えます。

東北大学大学院医学系研究科　平松 佳樹さん

[令和5年3月検査技術科学専攻卒業]

検査技術科学専攻では、臨床検査技師に必須な知識を幅広く学べる他、専門的な医学研究に取り組むことができます。私は、臨床検査技師を目指し本専攻へ入学しましたが、卒業研究で最先端の医学研究の面白さに触れ、現在では研究の道を志しています。今後は、本専攻で得た臨床検査の視点を活かし、臨床に寄与することが目標です。本専攻の魅力は、講義や病院実習では臨床検査技師としてのマインドを、卒業研究では研究者としてのマインドをそれぞれ培えることだと思います。卒業後は臨床検査技師だけでなく、医療関連企業や研究機関など多岐に渡る分野で活躍できるため、何らかの形で医療に携わりたい方には最適な環境だと考えます。

クラブ・サークル活動 Club and Circle activity

東北大学全体のクラブ・サークルとは別に、医学部独特のクラブ・サークルがあります。
医学部の学生は実習時間が多く、毎日十分な練習時間がとれないことから、医学部だけのサークルに入る学生が多いようです。このようなサークルは各医学部・医科大学にあり、特に運動系サークルでは、東日本の大学を集めた専用の大会(東日本医科学生総合体育大会)があります。

体育系サークル

- 陸上競技
- 水泳
- ラグビー
- サッカー
- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- バレーボール
- 準硬式野球
- 軟式庭球
- 硬式庭球
- 卓球
- バドミントン
- 柔道
- 剣道
- 弓道
- スキー
- ヨット
- 漕艇
- ワンデルング
- ゴルフ
- フットサル
- ビリヤードサークルSCRATCH
- ハンドボール
- バーベルクラブ
- スケート

文化系サークル

- 星陵アンサンブル
- 保健部セツルメント
- 東洋医学研究会
- 写真
- 艮陵新聞
- メディカルインターネットサークル
- 軽音楽
- 星陵混声合唱団
- 救命救急サークルRet's
- 鉄道愛好会
- 医学祭実行委員会
- 茶道
- 臨床推論サークルTeam COOL
- バイク
- 国際交流サークル I Health
- 学生会運営委員会

クラブ・サークル
活動についての
詳細はこちらから

医学部内の教育・研修施設 Education and Training facilities

附属図書館医学分館

約10万冊の図書、約1万5千タイトルの雑誌を所蔵し、医学系研究科・医学部、歯学部、および東北大学病院などに所属する学生・教職員を対象に、医学関連の専門図書館としての役割を担っています。また、電子ジャーナルや電子ブックも充実しており、医中誌webやPubMed、メディカルオンラインなど幅広くアクセスすることができます。2020年に全面的な改修工事を行い、感染対策の施された個別ブースの学習スペースや、グループ学習室が充実しています。

クリニカル・スキルスラボ

クリニカル・スキルスラボでは、シミュレーターなどを使用して実際の医療現場を模した疑似環境を提供し、医学部生・医師・看護師等の臨床技能教育を安全かつ効果的に行うことができます。臨床現場を反復して再現でき、臨床技能習得のレベルを上げるとともに、学習へのモチベーションを高める効果もあり、教育的有効性は非常に高いことが知られています。また本ラボでは、実技教育を行うだけではなく、ハーフミラーを設置し医療面接でのコミュニケーション能力向上に特化した、医療面接室なども用意しています。

星陵会館

2015年医学部開設百周年記念ホールの完成に合わせ、隣接する学生・教職員の福祉会館である星陵会館もリニューアルしました。この中には書籍も取り扱う売店や食堂のほか、ドリンクや軽食が楽しめるカフェも出店しています。この施設内にはピロティや学生利用が可能なスペースがあり、学生同士のコミュニケーションの場ともなっています。2階には開放式のピロティや大小の会議室があり、学生企画のイベントに利用することができます。

6号館グループ学習室

6号館は2014年に隣の東北メディカル・メガバンク棟と合わせ完成した新しい建物です。この建物の1階には10人程度が収容できるグループ学習室が16部屋用意されています。授業以外では、国家試験や定期試験などの試験対策や医学祭の準備などをグループ内で行う際によく利用されています。

修学費と奨学制度 【医学科・保健学科】

諸費用

学部・大学院の諸費用は下記のとおりです。

諸費用(令和5年度)	検定料	入学料	授業料
学部学生	17,000円	282,000円	535,800円／年
大学院学生	30,000円	282,000円	535,800円／年
研究生(学部・大学院)	9,800円	84,600円	29,700円／月
科目等履修生	9,800円	28,200円	14,800円／単位
特別聴講学生	― 円	― 円	14,800円／単位
特別研究学生	― 円	― 円	29,700円／月

※学部学生及び大学院学生の授業料は、年額です。
※科目等履修生及び特別聴講学生の授業料は、1単位に相当する授業についての額です。
※特別研究学生の授業料は、月額です。

日本学生支援機構等による奨学金

学業成績及び家計状況などの書類審査を経て候補者が推薦されたのち、奨学生としての採用が決まります。

日本学生支援機構による奨学金(第一種の場合)

学部		大学院	
自宅通学	自宅外通学	博士前期課程	博士後期課程
45,000円	51,000円	50,000円または88,000円	80,000円または122,000円

日本学生支援機構による奨学金の他に、都道府県等の地方公共団体、民間事業団体、個人の奨学財団等による奨学生の募集があります。学部等の推薦を受けて申し込み、採用の場合は貸与を受けることができます。(本人が申請する場合もあります。)

奨学生募集地方公共団体(令和4年度)

青森県、八戸市、山形県、福島県、いわき市、新潟県、千葉県、茨城県、栃木県、滋賀県、静岡県、三重県など。

奨学生募集民間財団等(令和4年度)

クロサワ育成財団、ピジョン奨学財団、川野小児医学奨学財団、杜の邦育英会、みずほ育英会、亀井記念財団、吉田育英会、尚志社、ナガワひまわり財団など。

授業料免除・徴収猶予・分納

授業料は、4月と10月に分けて納付することになりますが、経済的な理由により納付することが困難であり学業成績が優秀な者は、選考により免除(全額又は半額)されることがあります。また、期限までに納付することが困難な場合には、徴収猶予・月割分納の制度もあります。

授業料・入学料免除状況(令和4年度)(人) ※東日本大震災に伴う経済支援を含む

	授業料免除						入学料免除			
	前期分			後期分			学部	大学院		計
	学部	大学院	計	学部	大学院	計		前期	後期	
出願者数	110	187	297	105	187	292	13	22	4	39
全額免除者数	74	98	172	77	128	205	5	8	1	14
2/3免除者数	17	19	36	10	0	10	4	0	0	4
半額免除者数	8	58	66	8	54	62	0	0	0	0
1/3免除者数	3	0	3	3	0	3	1	0	0	1
一部免除者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不許可者数	8	12	20	7	5	12	3	14	3	20

褒賞制度

賞の名称	対象学生	令和4年度人数(人)
医学部学生奨学賞	医学科学生	11
海外留学奨学援助制度	医学科3年、6年	7

入試情報【医学科・保健学科】

入学試験実施状況(令和5年度実績)

一般選抜(前期日程)	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	77	48	25	25
志願者	237	100	52	80
第1段階合格	231	100	52	75
受験者	208	80	44	63
合格者	85	49	26	29
入学者	83	47	25	27

AO入試II期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	15	12	4	4
志願者	136	56	29	17
第1次選考合格	55	22	8	8
受験者	55	22	8	8
合格者	17	12	4	1
入学者	17	12	4	1

AO入試III期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	12	10	8	8
志願者	96	23	27	14
第1次選考合格	40	18	18	13
受験者	40	18	18	13
合格者	12	14	9	10
入学者	12	14	9	10

地域枠入試	医学科	
	宮城県枠	岩手県枠
募集人員	7	2
志願者	22	4
第1次選考合格	15	3
受験者	14	3
合格者	7	2
入学者	7	2

国際バカロレア入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3※	—	—	—
志願者	0	—	—	—
第1次選考合格	0	—	—	—
受験者	0	—	—	—
合格者	0	—	—	—
入学者	0	—	—	—

帰国生徒入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3※	—	—	—
志願者	4	—	—	—
第1次選考合格	0	—	—	—
受験者	0	—	—	—
合格者	0	—	—	—
入学者	0	—	—	—

私費外国人留学生入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3※	若干人	若干人	若干人
志願者	4	0	0	1
受験者	4	0	0	1
合格者	1	0	0	0
入学者	1	0	0	0

※合わせて3名

募集人員

	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
一般選抜(前期日程)	75	48	25	25
AO入試II期	15	12	4	4
AO入試III期	12	10	8	8
国際バカロレア入試	合わせて3	—	—	—
帰国生徒入試		—	—	—
私費外国人留学生入試		若干人	若干人	若干人
計	105	70	37	37

試験科目

	医学科	保健学科
一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト 数学・理科・外国語・面接(小作文含む)	大学入学共通テスト 数学・理科・英語・面接
AO入試II期	筆記試験・面接	筆記試験・面接
AO入試III期	大学入学共通テスト 筆記試験・面接	大学入学共通テスト 筆記試験・面接
国際バカロレア入試	筆記試験・面接	—
帰国生徒入試	筆記試験・面接	—
私費外国人留学生入試	面接	学力試験・面接(看護学専攻は面接のみ)

出身県別入学者数(令和5年度実績)

地区		医学科	保健学科		
			看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
北海道・東北	北海道	4	2	1	2
	青森	5	9	3	4
	岩手	3	7	1	2
	宮城	24	28	7	13
	秋田	1	5	1	2
	山形	4	2	4	3
	福島	2	4	8	1
関東		57	6	8	5
中部		10	9	4	6
近畿		7	0	1	0
中国		0	1	0	0
四国		1	0	0	0
九州・沖縄		3	0	0	0
その他・外国の学校等		1	0	0	0
計		122	73	38	38

今後の入試の変更点

詳しくは東北大学入試センターのウェブサイト(https://www.tnc.tohoku.ac.jp)をご確認ください。

東北大学医学部 医学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1
TEL.022-717-8009【教務課学部教務係】
FAX.022-717-8021
E-mail: med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

東北大学医学部 保健学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1
TEL.022-717-7905【教務課保健学科教務係】
FAX.022-717-8021
E-mail: cms-kyom@grp.tohoku.ac.jp

https://www.med.tohoku.ac.jp/

■Facebook
https://www.facebook.com/Tohoku.University.School.of.Medicine
■Twitter
https://twitter.com/tohoku_univ_med
■YouTube
https://www.youtube.com/c/東北大学大学院医学系研究科